

平成 2 7 年第 1 回伊賀市議会（定例会）

請 願 文 書 表

平成 2 7 年 3 月 3 日

1 受 理 番 号	請願第21号
2 受 付 年 月 日	平成27年2月18日
3 請願者の住所 及び氏名	伊賀市緑ヶ丘西町2557-1 伊賀九条の会 代表世話人 今高一三
4 請 願 の 件 名	集団的自衛権行使を容認した「閣議決定」を撤回し、立法化に反対することについて
5 請 願 の 要 旨	<p>日本国憲法は過去の悲惨な侵略戦争と軍国主義の政治を反省し、平和と民主主義を願う人々の切実な声を基礎にして生まれました。とくに、憲法第9条は「戦争の放棄、戦力および交戦権の否認」を定め、国内でも世界でも多くの人々の支持を集めています。</p> <p>したがって、今日まで日本は国際紛争は軍事力ではなく話し合いで解決すると決め、歴代内閣も日本が攻撃されていないのに他国に武力で協力する集団的自衛権の行使は認めてきませんでした。それを昨年7月1日、周辺国との緊張が高まったとして、行使を認める閣議決定を行いました。</p> <p>集団的自衛権の行使容認は、根本的に日本の安全保障政策を大きく変えるものです。このような重大な国の進路の変更を一内閣の閣議決定で行うことは、「立法主義の否定」と考えられます。私たち伊賀九条の会は、憲法第9条を守り生かすために様々な取り組みをしてきていますが、最近、多くの市民から現在の事態に対する不安の声を聞きます。</p> <p>戦争のない平和なアジアと世界を願う私たちは、憲法第9条を壊す集団的自衛権の行使を容認する解釈改憲を認めるわけにはいきません。したがって、下記事項について国に対し意見書を提出いただくよう求めます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>請願事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集団的自衛権行使を容認した「閣議決定」を撤回すること。</li> <li>2. 集団的自衛権行使の立法化に反対すること。</li> </ol>
6 紹 介 議 員	田中 覚、百上真奈
7 付 託 委 員 会	総務常任委員会